

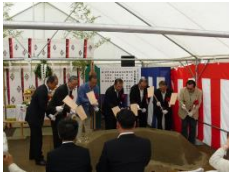
平成29年度 復旧・復興カレンダー

6月1日 (国)398号・女川橋の供用を開始



二級河川女川に架かる女川橋(女川町女川浜地内)は、東日本大震災の津波により流出しましたが、新たに完成した女川橋(橋長42.4m)の供用を開始しました。

6月10日 (仮称)浦宿橋下部工工事の安全祈願祭を開催



(一)女川杜鹿線の(仮称)浦宿橋下部工工事に於いて、安全祈願祭を開催しました。女川町長をはじめ県及び町議会議員、地元関係者など約30名に参加していただきました。

6月27日 平成28年度「全建賞」を受賞



当事務所の「新北大橋橋梁災害復旧事業」が平成28年度全建賞を受賞しました。震災直後の壊滅的な状況の中で早期に応急仮橋を施工し、恒久橋への復旧にあたっては、大規模な横取り架設を約2ヶ月という短期間の通行止めにて無事完了させたことなどが評価され、全建賞受賞となりました。

7月10日 (国)398号・新相川橋の開通式を開催



新相川橋(石巻市北上町十三浜字相川地内)の供用開始にあわせ開通式を開催しました。テープカットに続いて地元石巻市立北上小学校の鼓笛パレードを先導に、式典参加者による渡り初めを行い開通を祝いました。

9月14日 総合体験学習会を開催



石巻市立山下中学校の1年生を対象にして総合体験学習会を開催しました。貞山運河、東名運河などの歴史を説明した後、北北上運河でのカヌー体験をしました。

11月7日 女川町等との合同現場見学会を開催



技術の習得・継承を図るべく、女川町役場・石巻港湾事務所・東部地方振興事務所(水産漁港部)・東部下水道事務所・東部土木事務所による合同現場見学会を開催しました。

3月12日 事務所が合同庁舎へ移転



昭和38年4月に石巻土木事務所(当時)が石巻市門脇九軒町から石巻市東中里に移転されてから55年。東部土木事務所は、東日本大震災を共に乗り越えた庁舎から石巻市蛇田の宮城県石巻合同庁舎へ移転しました。

5月～7月 市町と復旧復興連絡調整会議を開催



5月17日(東松島市)、23日(女川町)、7月5日(石巻市)の3日間をかけて、管内各市町との復旧復興連絡調整会議を実施しました。

6月13日 小乗トンネルの貫通記念式典を開催



小乗復興道路事業、(主)女川杜鹿線小乗浜工区(女川町小乗浜地内)において、小乗トンネルの貫通に伴い貫通記念式典を開催し、トンネル貫通の儀を執り行ったほか、鏡開き、万歳三唱などによりトンネルの貫通を祝いました。

7月21日 東名海岸災害復旧事業が完成



東部土木事務所の事業量軽減のため、平成28年9月より仙台土木事務所に担当していた東名海岸災害復旧事業(東松島市)が完成しました。仙台土木事務所の皆様、ありがとうございました。

7月26日 親子現場見学会を開催



建設業界を身近に感じてもらうことを目的として、建設業協会と共催で親子現場見学会を開催しました。



災害復旧工事の現場見学や建設機械に触れるなどの体験をしてもらい、参加者から「貴重な経験だった」と好評を得ました。

10月11日 御前浜復興道路の開通式を開催



御前浜復興道路事業、(国)398号御前浜工区(女川町御前浜地内)の供用開始にあわせ開通式典を開催しました。女川町長をはじめ県議会及び町議会議員、地元関係者など約50名に参加していただき、テープカット、くす玉開披等で復興道路の開通を祝いました。

2月17日 釜閘門の地元住民向け現場見学会を開催



北北上運河釜閘門(定川北閘門)の復旧工事は、施工中に明治期に造られた木造閘門の一部が出土し、「北北上運河釜閘門遺構調査委員会」を設置して保存方法を検討するなど施工にあたり多くの課題がありました。閘門部分の工事が完了することから、地元住民を対象とした現場見学会を開催しました。

(1) 事務所の動き

平成29年度の事務所組織は、16班体制(職員数141名(事務31名、技術60名、任期付き11名、再任用3名、自治法派遣16名、非常勤職員10名、臨時職員10名)となっており、災害復旧事業、復興事業とともに、通常事業としての道路、公園の建設・管理、河川海岸等の整備・管理、建築確認等の業務を行った。

平成29年度の事業費は、現年予算46,560百万円、明許繰越予算47,154百万円及び事故繰越予算9,144百万円で総計約102,858百万円となっており、技術職員のみならず用地職員等の事務職員も不足した。慢性的なマンパワー不足のなか、積算技術支援、工事監督支援、用地監理業務等、外部委託を最大限に活用しながら業務の推進を図った。

これら膨大な事業費を適正に執行するため、事務所では進行管理体制を強化し、二ヶ月に一度開催する進行管理委員会のほか、重点事業については個別の進行管理を行った。また、用地部会、事業班進行管理委員会などきめ細やかな事業管理を行い、復旧・復興事業に遅れが生じないよう取り組んだ。

県民の皆様の多くから「未だ震災からの復旧復興の実感が湧いてこない」との厳しい意見を受け、積極的な情報発信に努めた。事務所のホームページにおいて、主要事業箇所ごとの概要と進捗状況を3ヶ月ごとに更新した。工事現場では完成パースの掲示、現場見学会の積極的な開催、工事着手・完成時の式典の開催など、復旧復興の「見える化」に努めた。

(2) 災害復旧事業

当事務所管内の公共土木施設災害復旧事業全615箇所のうち、全ての箇所において工事に着手し、571箇所(約93%)において工事を完了させた。金額ベースでは、全体事業費2,324億円に対し、着手済みが1,998億円(約86%)、完了が1,517億円(約65%)となった。

H30.3.31現在(事業費は本省変更額) ()内はH29.3.31時点

工種	事業箇所数			着手率(%)		完了率(%)		備考
	全体	着手済	うち完了	箇所ベース	箇所ベース	箇所ベース	箇所ベース	
河川・砂防	30 (30)	30 (30)	16 (12)	100.0% (100.0%)	53.3% (40.0%)			河川関係
海岸	25 (25)	25 (25)	14 (9)	100.0% (100.0%)	56.0% (36.0%)			着手率:100% 完了率:54.5%
道路	528 (528)	528 (528)	517 (513)	100.0% (100.0%)	97.9% (97.2%)			道路関係
橋梁	32 (32)	32 (32)	24 (23)	100.0% (100.0%)	75.0% (71.9%)			着手率:100% 完了率:96.6%
合計	615 (615)	615 (615)	571 (557)	100.0% (100.0%)	92.8% (90.6%)			
工種	事業費(億円)			着手率(%)		完了率(%)		備考
	全体	着手済	うち完了	事業費ベース	事業費ベース	事業費ベース	事業費ベース	
河川・砂防	1,312 (1276)	1,136 (1098)	819 (655)	86.6% (86.1%)	62.4% (51.3%)			河川関係
海岸	540 (521)	488 (466)	374 (340)	90.4% (89.4%)	69.3% (65.3%)			着手率:87.7% 完了率:64.4%
道路	216 (216)	189 (187)	172 (164)	87.5% (86.6%)	79.6% (75.9%)			道路関係
橋梁	256 (256)	185 (150)	152 (103)	72.3% (58.6%)	59.4% (40.2%)			着手率:79.2% 完了率:68.6%
合計	2,324 (2269)	1,998 (1901)	1,517 (1262)	86.0% (83.8%)	65.3% (55.6%)			

○本年度に完成した主な箇所

東名海岸, 大曲・浜市海岸, (一)石巻松島自転車道線・浜市橋
 (昨年度: 北上運河, 鰐ヶ淵海岸, (国)398号新北上大橋 外

○災害復旧工事完成箇所の写真



【東名海岸 (東松島市)】



【大曲・浜市海岸 (東松島市)】



【浜市橋 (東松島市)】

(3) 復興事業

1. 多重防御による津波防災・減災対策

津波防護レベル(レベル1)対策として, 河川において8箇所, 海岸において15箇所, 全ての災害復旧工事に着手した。また, 多重防御による津波減災レベル(レベル2)対策として, (都)門脇流留線において高盛土構造の街路事業(復興交付金)を推進した。さらに, 災害時の一時的な避難場所としても活用できる, 防災機能を有した「石巻南浜津波復興祈念公園」や「矢本海浜緑地」の整備を図った。

施設別	箇所数	着手	H30.3迄完	完成率	備考
河川堤防	8	8	1	13%	相川沢川, 大原川, 湊川, 淀川, 女川, 定川, 南北上運河, 北上運河, (H29末完成: 北上運河)
海岸保全施設	15	15	4	27%	白浜, 長塩谷, 横須賀, 谷川, 大谷川, 清水田, 大原, 東侍浜, 石巻長浜, 大曲, 州崎, 東名, 長浜, 長石, 仁斗田, (H29末完成: 東侍浜, 東名, 石巻長浜, 大曲,)
計	23	23	5	22%	

○工事状況写真



【女川橋(女川町女川)】



【東名海岸(東松島市東名)】



【(都)門脇流留線(石巻市魚町)】

2. 復興交付金事業

被災市街地復興土地区画整理事業や防災集団移転促進事業など、市・町の復興まちづくりに関連する復興道路の整備は、全体事業費約 879 億円 10 路線 25 箇所である。平成 29 年度新たに(主)石巻鮎川線十八成浜工区、(一)石巻雄勝線藤堂工区に着手し、着手箇所は 24 箇所となった。

唯一工事未着手となっている(都)門脇流留線南浜工区については、早期の工事着手を目指し鋭意用地買収を進めた。

市町名	路線名	箇所名	延長 (Km)	全体事業費 (百万円)	執行済額 (百万円)	内、工事契約額 (百万円)	工事着手	H29年度事業内容	工期
石巻市	(国)398号	相川	1.91	8,171	5,550	5,034	○	用地補償、道路改良、トンネル、橋梁上下部	H24～H31
	"	雄勝	2.89	5,204	1,095	699	○	設計、用地測量、用地補償、道路改良、橋梁下部	H24～H32
	"	湊	1.50	2,330	1,370	879	●	用地補償、道路改良	H24～H30
	(主)石巻鮎川線	小網倉浜	1.82	1,570	1,537	1,288	○	用地補償、道路改良	H24～H30
	"	給分浜	2.06	2,170	395	28	●	用地補償、工事着手	H24～H32
	"	十八成浜	2.08	2,479	1,278	936	○	用地補償、道路改良	H24～H31
	(主)女川牡鹿線	鮫浦	1.40	1,700	895	672	●	用地買収、土工、舗装	H24～H31
	"	大谷川浜	0.92	1,450	560	391	●	土工、舗装	H24～H30
	"	谷川浜	1.54	1,200	980	779	●	土工、舗装	H24～H30
	(一)石巻雄勝線	藤巻	0.94	2,195	192	166	●	用地補償	H24～H32
(一)釜谷大須雄勝線	伊勢畑	0.92	2,876	1,347	966	●	道路改良、橋梁下部、函渠	H25～H30	
計 5路線			11箇所	18.0	31,345	15,199	11,839	11	
女川町	(国)398号	市街地	2.9	3,211	3,841	2,034	○	女川橋保橋梁改良、公管倉工事、用地補償、下歩執行委任(工事)	H23～H30
	"	市街地(2)	1.55	1,202			○		
	"	御前浜	0.72	792	745	636	○	土工、舗装	H23～H29
	(主)女川牡鹿線	飯子浜	2.86	2,891	1,391	859	○	用地買収、土工、函渠	H24～H32
	"	小栗浜	1.05	3,012	2,860	2,665	○	トンネル、橋梁下部、橋梁上部	H24～H30
	"	高白	1.16	714	619	440	○	用地補償、土工、函渠	H24～H29
	(一)出島線	寺間	1.18	615	382	281	●	土工、舗装	H23～H29
計 3路線			7箇所	11.4	12,437	9,838	6,915	7	
東松島市	(主)奥松島松島公園線	州崎	3.00	5,233	3,626	3,516	○	地盤改良工、盛土工	H23～H32
	"	宮戸	1.06	3,982	2,697	2,453	○	用地補償、橋梁下部工、地盤改良工	H23～H31
計 1路線			2箇所	4.1	9,215	6,323	5,969	2	
計 7路線			20箇所	33.5	52,997	31,360	24,723	20	

市町名	路線名	箇所名	延長 (Km)	全体事業費 (百万円)	執行済額 (百万円)	内、工事契約額 (百万円)	工事着手	H29年度事業内容	工期
石巻市	(都)大街道石巻港線		0.87	1,101	607	277	○	用地補償、道路改良	H23～H30
	(都)門脇流留線	門脇地区	4.20	19,850	9,286	786	○	用地補償、道路改良	H24～H32
	"	南浜地区	1.10	1,503	105	0	○	用地補償	H24～H32
	"	魚町地区	2.60	7,081	4,880	3,146	○	用地補償、道路改良	H24～H32
東松島市	(都)矢本門脇線	市街地(2)	3.98	5,389	3,007	2,408	○	用地買収、橋梁下部工、道路改良工	H24～H32
計 3路線			5箇所	12.8	34,924	17,885	6,617	4	
合計 10路線			25箇所	46.2	87,921	49,245	31,340	24	着手率:箇所96%、事業費56%

凡例 ○:H27 以前着手箇所 ●:H28 着手箇所 ●:H29 着手箇所

復興交付金事業種別一覧表

H30.3.31時点(事業費は本省変更額)

()内はH29.3.31時点

事業種別	路線数	箇所数	工事中箇所数	工事着手率 (箇所ベース)	全体事業費 (百万円)	着手済事業費 (百万円)	着手率 (金額ベース)
道路整備事業費	7	20	20 (18)	100.0% (90.0%)	52,997 (48,256)	31,360 (21,737)	59.2% (45.0%)
街路整備事業費	3	5	4 (4)	80.0% (80.0%)	34,924 (34,924)	17,885 (9,933)	51.2% (28.4%)
合計	10	25	24 (22)	96.0% (88.0%)	87,921 (83,180)	49,245 (31,670)	56.0% (38.1%)

○工事状況写真



【(主)奥松島松島公園線・宮戸工区】



【(国)398号・御前浜工区】



【(主)石巻鮎川線・十八成浜工区】

3. 防災道路ネットワーク整備

①広域的な防災道路や半島部などを連絡する道路の整備

大規模災害時においても確実に交通ルートが確保できるよう、地域間の連携を強化する道路と、半島部などを連絡する道路を重点的に整備した。今年度(国)398号崎山工区の施工に着手し、全7箇所において現場着手となった。

市町名	路線名	箇所名	延長(Km)	全体事業費(百万円)	執行済額(百万円)	内、工事契約額(百万円)	工事着手	H29年度事業内容	工期
石巻市	(国)398号	大瓜	3.4	13,044	11,721	9,368	○	地盤改良、道路改良、橋梁上下部	H21～H30
	(主)石巻鮎川線	風越(Ⅱ)	1.2	4,000	3,339	2,861	○	事業認定申請、橋梁下部4基	H19～H31
	(一)石巻雄勝線	雄勝峠	17.0	2,600	1,187	621	○	用地補償、道路改良	H23～H32
	(一)石巻女川IC付線	蛇田	0.34	483	483	359	完了	-	H24～H27
計	4路線	4箇所	21.9	20,127	16,730	13,209	4		
女川町	(国)398号	崎山	0.92	2,816	261	152	●	測量設計、用地買収、トンネル、起点部道路改良工事	H28～H31
	(一)石巻女川線	浦宿	0.66	5,030	4,363	3,746	○	補償、JR協定、橋梁上下部国道切通し	H20～H32
	(主)女川杜鹿線	高白	1.5	2,600	2,065	1,922	○	用地買収、土工、舗装、トンネル(設備)	H24～H31
計	3路線	3箇所	3.0	10,446	6,689	5,820	3		
計	6路線	7箇所	25.0	30,573	23,419	19,030	7	着手率: 箇所100%、事業費77%	

凡例 ○:H27 以前着手箇所 ●:H28 着手箇所 ●:H29 着手箇所

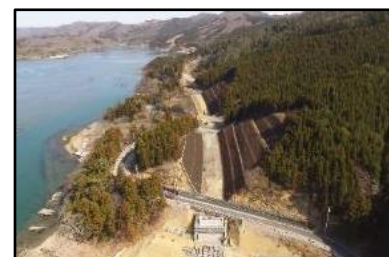
○工事状況写真等



【(国)398号石巻バイパス(Ⅱ期)】



【(一)石巻女川線浦宿 BP】



【(主)石巻鮎川線風越 BP】

②緊急輸送道路及び主要幹線道路等の橋梁耐震化

緊急輸送道路上の橋梁耐震対策については、開北橋の完了により管内すべてで完了した。引き続き主要幹線道路における長大橋(神取橋, 及川橋)の耐震補強について重点的に整備を進めた。

市町名	路線名	橋梁名	橋長(m)	事業費(百万円)	事業期間	事業理由
石巻市	(主)石巻河北線	開北橋	285.0	430	H20～H26	緊急輸送道路
	(主)河南米山線	神取橋	287.1	471	H24～H31	大規模橋梁
	(主)河南築館線	及川橋	205.9	508	H24～H31	大規模橋梁

○工事状況写真等



【神取橋耐震補強】



【及川橋耐震補強】

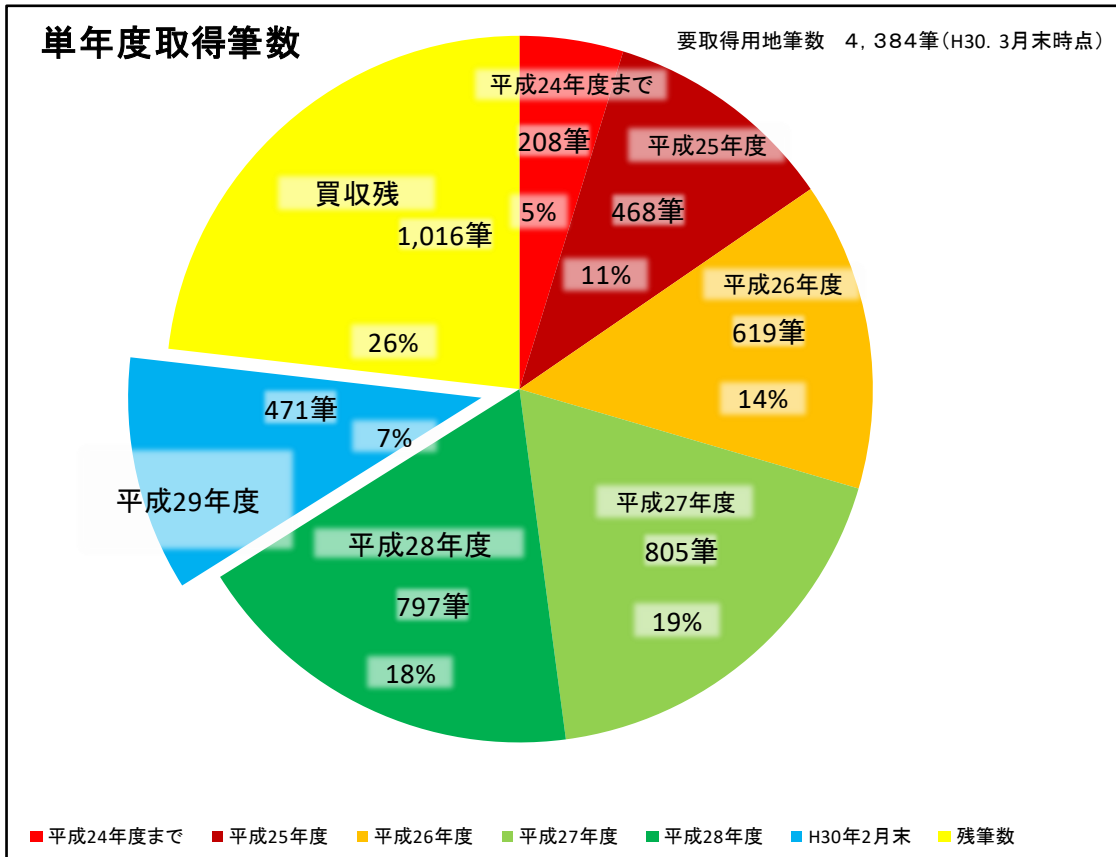
(4) 7年目の課題

○用地担当職員の不足

災害復旧事業及び復興事業による用地取得については、両事業あわせて4,384筆の用地取得が必要となる。そのうち災害復旧事業では、1,737筆中1,481筆(約85%)を取得し、また復興事業では、2,647筆中1,887筆(約71%)を取得した。来年度、残筆数1,016筆の取得を目指す。

復旧・復興事業の進捗に用地取得の推進は欠かせないが、当土木事務所は沿岸3土木事務所の中でも取得筆数が最も多く、膨大な量の用地を取得しなければならないことから、用地取得のための交渉を行う「用地補償総合技術業務委託」や用地取得業務のマネジメントを行う「用地監理業務委託」等の外部委託を積極的に活用し、用地取得をより一層推進する必要がある。

	箇所数	要取得筆数	取得済筆数	残筆数	取得率
復旧事業	91	1,737	1,481	256	85.3%
復興事業	38	2,647	1,887	760	71.3%
計	129	4,384	3,368	1,016	76.8%

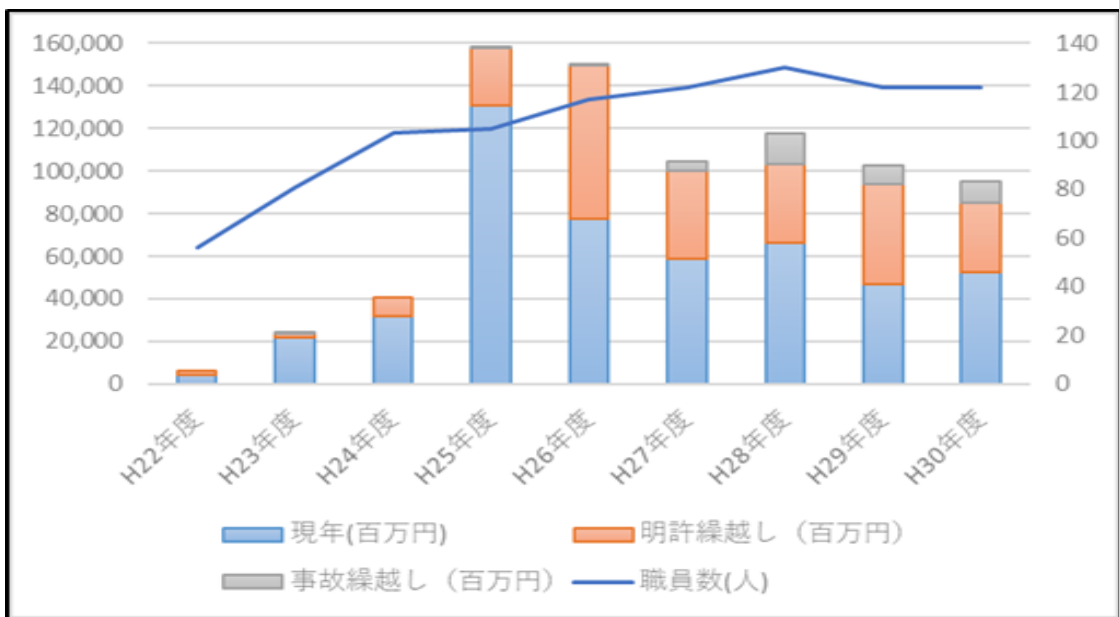


○技術担当職員の不足

当事務所は震災により大きな被害をうけた地域を所管しているため、復旧・復興事業のピークが発展期最終年度の平成32年度まで継続する見込みである。現在でも職員の時間外における長時間勤務が慢性化している状況であるが、今後は「南浜復興祈念公園事業」が本格化し「出島架橋工事」等の大規模事業にも着手することからマンパワー不足が一層深刻化するものと懸念される。そこで、従来から行っていた積算技術支援業務や工事監督員支援業務に加え新たに技術資料作成業務等の業務においても外部委託を積極的に活用することで技術系職員の不足を補う必要がある。

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
現年(百万円)	4,346	21,467	32,100	131,096	77,655	59,060	66,194	46,560	52,204
明許繰越し(百万円)	1,608	2,086	8,522	26,396	71,779	41,179	36,848	47,154	32,621
事故繰越し(百万円)		277	0	811	1,062	4,346	14,588	9,144	9,988
事業費計(百万円)	5,954	23,830	40,622	158,303	150,496	104,585	117,630	102,858	94,813
職員数(人)	56	81	103	105	117	122	130	122	122

※H23～H29年度の事業費は精算額、H30年度は予算額。職員数に非常勤・臨時職員は含まない



○入札不調

平成24年度の当事務所の入札不調の発生率は約40%であり、以降平成25年度は約30%、平成26年度は約28%、平成27年度は約21%と減少傾向にあったが、平成28年度は約27%と再び高い割合となり、平成30年3月現在では約26%と高止まりとなった。

業界団体と意見交換を行うなど入札不調の原因の把握に努めながら、発注時期や発注規模、工事内容の見直し等、創意工夫が必要となる。

施行年度	平成24年度				平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度				平成29年度			
	落札	不調	計	発生率	落札	不調	計	発生率	落札	不調	計	発生率	落札	不調	計	発生率	落札	不調	計	発生率	落札	不調	計	発生率
事務所発注	109	75	188	39.9%	70	26	96	27.1%	50	25	75	33.3%	52	12	64	18.8%	57	28	85	32.9%	84	32	116	27.6%
本庁契約	21	10	33	30.3%	26	15	41	36.6%	27	5	32	15.6%	9	4	13	30.8%	20	1	21	4.8%	12	2	14	14.3%
計	130	85	221	38.5%	96	41	137	29.9%	77	30	107	28.0%	61	16	77	20.8%	77	29	106	27.4%	96	34	130	26.2%

○土地収用

平成30年度に新規で土地収用裁決申請を予定している箇所が7箇所、前年度に申請済みで平成30年度に土地収用委員会の審理や補償金の支払等の手続きを行わなければならない箇所が1箇所あり、土地収用に係る事務手続きが一層増加する見込みであることから、綿密な進行管理が必要となる。

道路施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① 国道398号 大瓜工区
着工前

施工中



① 平成30年3月 現在
(4月より一部供用開始)

着工前



② 門脇流留線④⑤工区 (魚町)
着工前

施工中



② 平成30年3月 現在
施工中

着工前



③ 内海橋 石巻市中央地内
着工前

施工中



③ 平成30年3月 現在
施工中

着工前



④ 大街道石巻港線 石巻市門脇町地内
着工前

完成



④ 平成28年6月
完成

着工前



⑤ (主) 石巻鮎川線 石巻市小網倉浜地内
小網倉浜復興道路

施工中



⑤ 平成30年3月 現在
1・2・3工区まで 完成

着工前



⑥ (主) 石巻鮎川線 石巻市十八成浜地内
十八成浜復興道路

施工中



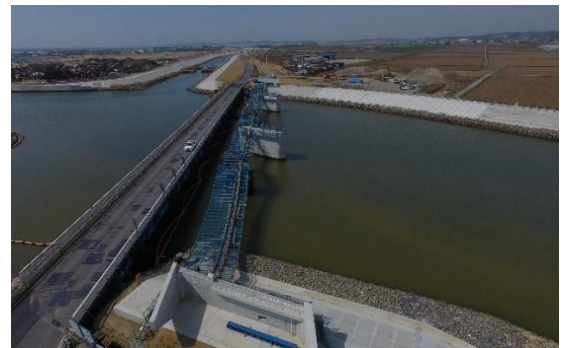
⑥ 平成30年3月 現在
上部工まで 完成

着工前



⑦ (一) 石巻工業港矢本線 石巻市門脇地内
定川大橋橋梁災害復旧工事

施工中



⑦ 平成30年3月 現在
上部工 施工中

着工前



⑧ (一) 石巻松島自転車道線 東松島市浜市地内
浜市橋橋梁災害復旧工事

完成



⑧ 平成29年7月 現在
完 成

着工前



⑨ 尾の崎橋 石巻市長面地内
橋梁上部工流出状況

施工中



⑨ 平成30年3月 現在
本復旧（下部工） 施工中

着工前



⑩ 相川復興道路 石巻市北上町十三浜字相川地内
橋梁上部工・取付道路流出状況

施工中



⑩ 平成30年3月 現在
本復旧 施工中

着工前



⑪ 伊勢畑復興道路 石巻市雄勝町伊勢畑地内
着工前（防集団地予定箇所）

施工中



⑪ 平成30年3月 現在
本工事 施工中

着工前



⑫ 雄勝復興道路 石巻市雄勝町雄勝地内
雄勝3号橋着工前

施工中



⑫ 平成30年3月 現在
本工事（下部工）施工中



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



⑬ 国398号 女川町御前浜地内
着工前

完成



⑬ 平成30年3月 現在
着工後

着工前



⑭ 女川牡鹿線 女川町小乗浜地内
着工前

完成



⑭ 平成30年3月 現在
着工後

着工前



⑮ 石巻女川線 女川町浦宿地内
着工前

完成



⑮ 平成30年3月 現在
着工後

着工前



⑩ 竹浦地区 牡鹿郡女川町竹浦地内
道路法面对策

完成



⑩ 平成29年12月 現在
完成

着工前



⑪ 竹浦地区 牡鹿郡女川町竹浦地内
道路法面对策

完成



⑪ 平成29年12月 現在
完成

着工前



⑫ 桐ヶ崎地区 牡鹿郡女川町桐ヶ崎地内
道路法面对策

完成



⑫ 平成29年12月 現在
完成

着工前



⑱ 大石原浜地区 牡鹿郡女川町大石原浜地内
道路法面对策

完成



⑱ 平成29年6月 現在
完 成

着工前



⑳ 飯子浜地区 牡鹿郡女川町飯子浜地内
道路法面对策

完成



⑳ 平成30年1月 現在
完 成

河川・海岸保全施設の再生・復興状況の写真



着工前



① 州崎海岸 東松島市松ヶ島地内
海岸堤防復旧工事

完成



① 平成30年3月 現在
本復旧 施工中

着工前



② 東名運河 東松島野蒜地内
河川災害復旧工事

完成



② 平成30年3月 現在
本復旧 施工中

着工前



③ 東名地先海岸 東松島市大塚地内
海岸堤防復旧工事

完成



③ 平成29年7月
本復旧 完成

着工前



④ 淀川 石巻市十八成浜地内
河川災害復旧工事

完成



④ 平成30年3月 現在
本復旧 施工中

着工前



⑤ 清水田地区海岸 石巻市清水田浜地先外
海岸堤防復旧工事

完成



⑤ 平成30年3月 現在
本復旧 施工中

着工前



⑥ 北北上運河 石巻市門脇地内
着工前

現況



⑥ 平成30年3月 現在
法覆護岸工施工中

着工前



⑦ 浜市地区海岸 東松島市浜市牛網海辺地内
着工前

現況



⑦ 平成30年1月
完成

着工前



⑧ 定川 東松島市大曲字川前地内
着工前

現況



⑧ 平成30年3月 現在
法覆護岸工 完了

着工前



⑨ 南北上運河 東松島市大曲地内
着工前

現況



⑨ 平成30年3月 現在
法覆護岸工 完了

着工前



⑩ 一級河川北上川水系富士川 石巻市針岡地内
河川堤防・樋門整備

完成



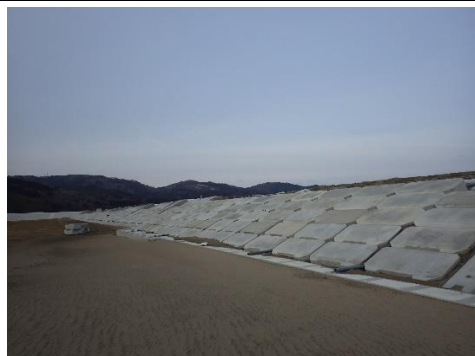
⑩ 平成30年3月 現在
施工中

着工前



⑪ 横須賀地区海岸 石巻市長面地内
防潮堤 整備

完成



⑪ 平成30年3月 現在
施工中

河川施設の再生・復興状況の写真



着工前



⑫311地震災第5020号 石巻市北上町十三浜地内
追波沢川 河川堤防沈下

施工中



⑫ 平成30年3月 現在
本復旧 施工中

着工前



⑬311地震災第5020号 石巻市北上町橋浦 地内
皿貝川 河川堤防沈下

施工中



⑬ 平成30年3月 現在
本復旧 施工中

着工前



⑭ 311地震災第5020号 石巻市大網 地内
中島川 河川堤防沈下

施工中



⑭ 平成30年3月 現在
本復旧 施工中

着工前



⑮ 311地震災第5020号 石巻市北上町十三浜 地内
大沢川 河川堤防沈下

完成



⑮ 平成30年3月 現在
本復旧 施工中

東部土木事務所登米地域事務所

平成29年度 復旧・復興カレンダー

4月1日 三陸沿岸道路 道の駅「三滝堂」オープン



道の駅「三滝堂」は、休憩施設と集客施設の併設型で、ドライバーの利便性、地域活性化と災害防災拠点整備などを目的に整備され、登米市内で5カ所目の道の駅となります。

6月20日 土砂災害危険箇所パトロール



登米市及び砂防ボランティアのご協力をいただいて登米市内の土砂災害危険箇所のうち11箇所のパトロールを実施しました。

8月8日～17日 スマイルサポーター

みやぎ県北高速幹線道路パネル展



登米市内において道路や河川の美化活動に日頃から取り組んでいただいている「スマイルサポーター」の活動と「みやぎ県北高速幹線道路事業」を紹介する写真パネル展をイオンタウン佐沼にて開催しました。

9月14日 新田跨線橋 橋梁耐震補強工事完成



(主)築館登米線に位置する新田跨線橋の耐震補強・橋梁補修工事が完成しました。JR東日本に工事を委託するなど、完成までに5年の工期を要しました。

10月13日 河川クリーンキャンペーン



39回目となる今年は、建設業18社・1団体100名が参加し、登米市内の各河川の清掃活動を行いました。事務所からは23名が参加し、迫川の清掃活動を行いました。

11月13日 長沼ダム活用会議開催



会議では10名の委員が参加し、県内外から訪れる来訪者に対し、ダムカードに併せて観光パンフレットを配布し、登米市の魅力を知っていただく取り組み事例を紹介するなど活発な意見が交わされました。

1月10日 河川・ダム担当者研修

「迫川流域の河川整備のあり方」開催

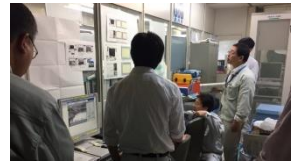


迫川流域の河川改修やダム・遊水地の歴史、現状と課題、これからの河川整備のあり方について学び、考えることを目的に外部講師を招き研修会を開催しました。

3月14日 ニツ屋橋・三ツ口橋 橋梁耐震補強工事完成



5月25日 河川・ダム管理施設の操作研修会



出水期を迎えるにあたり、迫川流域に位置する長沼ダム、荒川等の各管理施設の操作研修を実施し、迅速かつ確実な操作手法を確認しました。

7月3・4・5・25日

土砂災害防止法による基礎調査結果説明会

登米市の協力をいただきながら44箇所(石越町:5箇所、登米町:6箇所、米山町:10箇所、豊里町:23箇所)の指定に向け説明会を開催しました。



8月4日 ロードクリーンキャンペーン

「道路ふれあい月間」にあわせ、職員24名が道の駅「林林館」敷地内及び一般国道398号(三滝堂ICから新水界トンネル間)の除草、清掃活動等を行いました。



また、日頃から道路美化活動をボランティアで実施されているスマイルロードサポーター19団体が各認定区間で清掃活動を行いました。

9月17日 迫川フェスティバルin長沼レガッタ2017

第28回長沼レガッタ会場において、長沼ダムネーミングライツを取得しているパシフィックコンサルタンツ(株)と協働でクイズ大会などを実施し、子供たちや親御さんに長沼ダムへの関心を深めていただきました。



10月31日 蕪栗沼清掃活動に参加

大崎市田尻観光協会主催による「蕪栗沼クリーン作戦」が実施されました。大貫小学校の生徒を含め67名が参加し蕪栗沼と周辺水田の清掃活動を行いました。



12月4日 スマイルサポーターとの意見交換会を開催

12団体から出席をいただき、参加者確保の工夫や長く活動が続けるための工夫・秘けつなどについて情報交換がなされました。また、資材の支給や助成、不法投棄の対策など県への意見・要望がなされるなど活発な意見交換会となりました。



2月8日 蕪栗沼管理会を開催

大崎市より世界農業遺産に認定された「大崎耕土」の紹介があり、伝統的な水管理の継承や農業生物の多様性向上に向けた取組事例等の説明がありました。



3月14日 みやぎ県北高速幹線道路

インターチェンジ・橋梁名決定・公表

登米市では、インターチェンジ4箇所と橋梁2橋の名称について、昨年3月に一般公募しました。一般公募結果を踏まえ、各施設の名称を決定し、公表しました。



(1) 事務所の動き

平成 29 年度は、宮城県震災復興計画の再生期の最終年度であり、発展期を見据え、復興事業等を加速化する重要な年となった。

当事務所では、平成 29 年度の取組目標を、「笑顔あふれる心豊かな地域づくりをめざして」と掲げ、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトであり、復興支援道路である「みやぎ県北高速幹線道路」などの交通網を構築するとともに、長沼川などの河川改修の促進と河川管理施設の適切な維持管理による治水対策及び砂防施設の改築等による土砂災害対策など、防災力を総合的に強化し、施設の健全化と予防保全により、快適で安心して暮らせる登米地域の生活基盤の整備に職員一丸となって取り組んだところである。

(2) 復興事業（みやぎ県北高速幹線道路事業）

みやぎ県北高速幹線道路は、県北部において東北縦貫自動車道と三陸縦貫自動車道を結び、栗原圏域と登米圏域の交流や連携を強化する延長約 24km の地域高規格道路であり、被災地の復興や災害時における救援物資輸送等を担う復興支援道路である。

Ⅱ期(中田工区)4.7km は、平成 30 年の供用に向け、全ての工事を発注しており、平成 29 年度末現在、道路盛土、中田 IC 部の橋梁上部工及び函渠工事が完了し、仕上げとなる舗装工事に着手した。

Ⅲ期(佐沼工区)3.6km は、用地の確保に向け全力で取り組んでおり、平成 29 年度末現在、物件移転 92%、用地買収 95%の取得に至った。工事についても、宮城県道路公社の施工により、着実に事業の推進を図っているところであり、地盤改良、道路盛土及び迫川を渡河する紫雲山大橋など、市街地部に位置する加賀野高架橋を除く全ての工事に着手した。

また、地域の方々や道路を利用される方々に親しみを持っていただけるよう、計画されているインターチェンジ等 4 箇所と橋梁 2 橋について名称の一般公募を行い、各名称について決定・公表した。



佐沼工区：起点部付近（平成 30 年 3 月現在）



中田工区：中田 IC 付近（平成 30 年 3 月現在）

（3）通常事業

道路事業については、長沼ダム建設時から道路改良の要望があった一般県道新田米山線飯島Ⅱ（梅ヶ沢）工区において、市道を利用したバイパス案を地元へ提示し了解が得られたことから詳細設計に着手した。国道 346 号では、狭隘部の解消に向け、錦織バイパスの工事を加速化するとともに、平成 28 年度から用地補償に着手した飯土井地区においても、丁寧な説明を繰り返し 4 件の用地補償が完了した。

また、防災道路ネットワークの強化として、緊急輸送道路上に位置する新田跨線橋、二ツ屋橋及び三ツ口橋の耐震補強工事が完成し、豊里大橋については、車両の大型化による床版損傷等の補修、橋梁耐震化及び歩行者の安全確保を図るため、下部工の耐震補強工事と並行し、鋼床版を採用した上部工の架替工事に着手した（4 ヶ年債務）。



錦織バイパス工事（平成 30 年 3 月現在）



二ツ屋橋耐震補強工事（平成 30 年 3 月完成）

河川事業については、荒川の仮屋河道排水機場に河道ポンプを増設する工事が完成した。また、佐沼市街地を貫流する長沼川の洪水氾濫防止を図るため放水路開削工事を推進するなど河川改修を推進した。

河川管理施設の維持管理については、平成 28 年 3 月に策定した「河川管理施設

長寿命化計画」に基づき、管内 18 施設の補修を計画的に実施していくこととし、南谷地流出樋門については補修工事に着手し、宝江樋門については補修設計に着手した。

また、長沼ダムについても、関連する河川管理施設が多岐にわたることから、設備の更新等を長期的により効果的・効率的に行い、異常気象時において万全の機能が発揮できるよう「長沼ダム長寿命化計画」を策定するなど、地域の安全・安心が図られるようハード・ソフト一体となった整備を実施した。



仮屋河道排水機場ポンプ増設工事

(平成 30 年 3 月完成)



長沼川放水路工事 (平成 30 年 3 月現在)

砂防事業については、登米市東和町錦織地内において、砂防緊急改築事業により、鍋割堰堤改築工事に着手した。

土砂災害警戒区域等の指定状況は、管内における土砂災害危険箇所 684 箇所のうち、平成 29 年度末現在で 436 箇所(指定率は 64%)の区域指定が完了し、災害時要配慮者関連箇所及びランク I については、全箇所指定が完了した。

(4) 7 年目の課題

みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期(中田工区)では、10 件の工事が輻輳しており、平成 30 年の供用に向けた工事間調整が重要となってくる。特に、第 12 号函渠工部において道路占用物件との調整も必要となってくることから、円滑な工事進捗が図られるよう徹底した安全管理と綿密な工程調整が必要である。Ⅲ期(佐沼工区)は、工事スケジュールに合わせ、計画的に用地取得を進めているが、補償対象が多い市街地部において遅れが生じている。引き続き丁寧な説明を行い、理解を得るとともに、事業スケジュールとのタイミングを図りながら、事業認定の申請手続きを行う必要がある。

沿岸部に向かう県管理道路は、復旧・復興関連の大型車の交通量増加に伴い、既設舗装板の破損が進んでおり、計画的に舗装補修工事を行っているものの、多くの苦情が寄せられている。緊急的に、一定規模での舗装補修が必要となった場合、通常の道路管理業務では対応できない場合も想定されるため、舗装補修のみを対象とした長期継続契約業務を平成 30 年度に実施することとし、その成果について検証し発注体制の見直しなどを行い、引き続き適切な道路管理に努めていく必要がある。

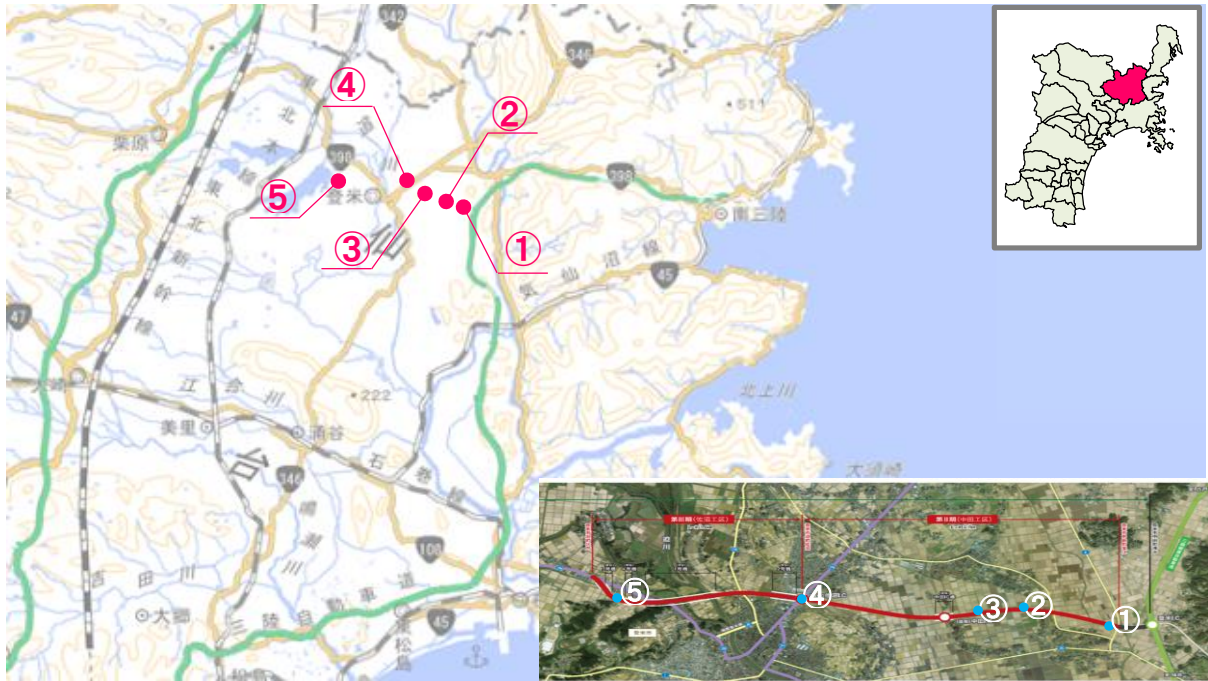
通常事業では、道路、河川事業問わず予算が十分に確保されていない状況にある。道路事業については、沿岸部と内陸部を結ぶ国道 346 号の狭隘部解消に向け、錦織道路改良事業や飯土井道路改良事業などを推進しているが、予算が十分確保されていないことから、今後、重点的に投資を進める必要がある。河川事業についても、長沼ダム完成後、上流部の若柳狭窄部の開削工事に着手しており、その受け皿となる下流工区の河道掘削、老朽化した南谷地越流堤の改築など計画的な整備が必要とされるが、予算措置が伴わずに継続的な事業展開が図られない状況にあることから、予算を確実に確保していく必要がある。

(5) おわりに

平成 30 年度は、宮城県震災復興計画の発展期を迎える。登米地域から、県全体の復興の加速化が実感できるよう、復興支援道路であるみやぎ県北高速幹線道路等の整備を、戦略的に展開・発信するとともに、地域との連携・協働をとおして、住みよい地域づくりを推進する。また、危機管理意識の高揚と迅速な対応に努め、地域から信頼・期待される組織を構築する必要がある。

事業執行にあたっては、限られた人員での体制となるが、事務所内の風通しを良くし、明るい職場環境のもと、引き続き、所員が一丸となって目標に向かって取り組める執行体制を確保していく。

道路施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① 登米市中田町浅水地内
みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期（中田工区）

完成



① 平成30年3月 現在
盛土施工中

着工前



② 登米市中田町宝江新井田地内
みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期（中田工区）

完成



② 平成30年3月 現在
盛土施工中

着工前



③ 登米市中田町宝江新井田地内
みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期（中田工区）

完成



③ 平成30年3月 現在
盛土施工中

着工前



④ 登米市迫町佐沼地内
みやぎ県北高速幹線道路Ⅲ期（佐沼工区）

完成



④ 平成30年3月 現在
盛土施工中

着工前



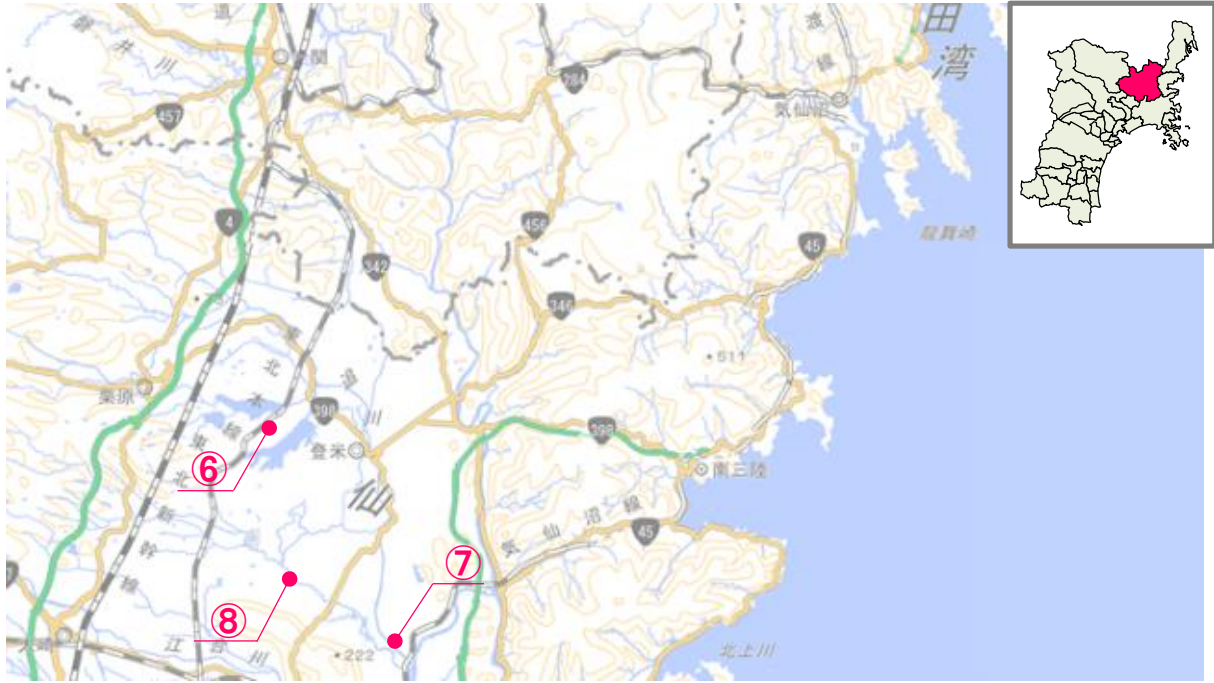
⑤ 登米市迫町北方地内
みやぎ県北高速幹線道路Ⅲ期（佐沼工区）

完成



⑤ 平成30年3月 現在
盛土施工中

道路施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



⑥ 登米市迫町新田地内
新田跨線橋橋梁補修工事(その2)

完成



⑥ 平成30年3月 現在
完成

着工前



⑦ 登米市豊里町一番江地内
二ツ屋橋外橋梁耐震補強工事(二ツ屋橋)

完成



⑦ 平成30年3月 現在
完成

着工前



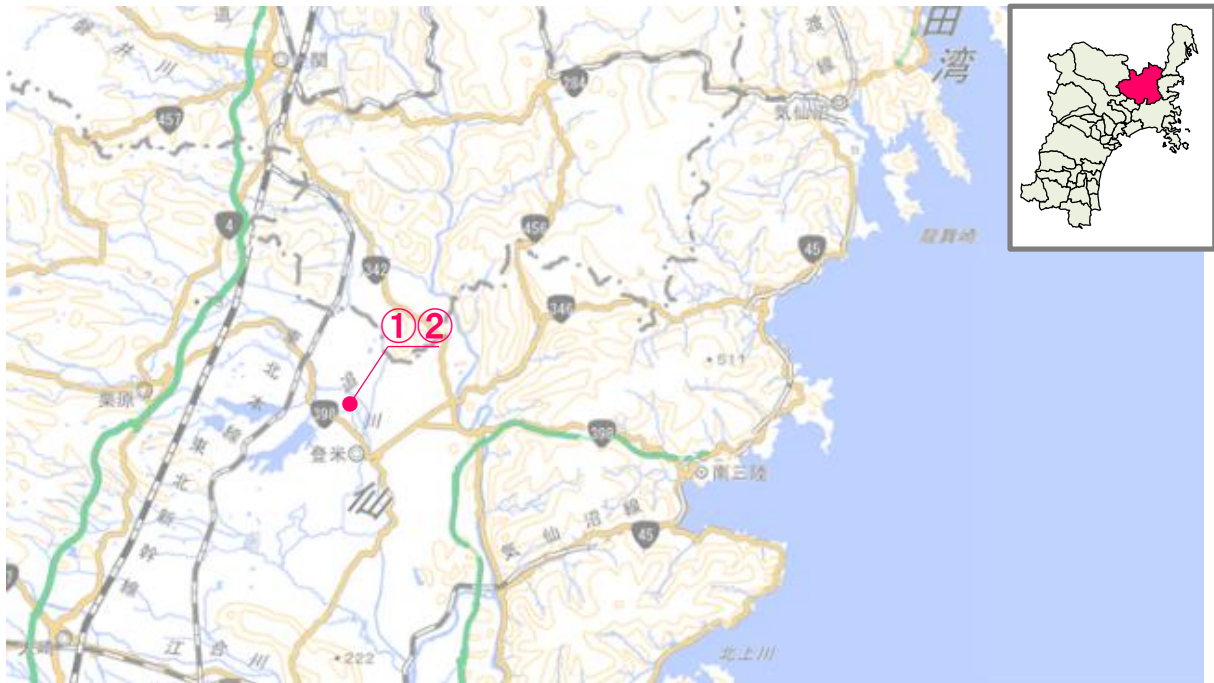
⑧ 登米市米山町中津山字三方江地内
二ツ屋橋外橋梁耐震補強工事（三ツ口橋）

完成



⑧ 平成30年3月現在
完成

河川施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① 登米市迫町北方字仮屋地内
迫川(荒川)河川改修 仮屋河道排水機場 除塵機整備

完成



① 平成30年3月現在
完成

着工前



② 登米市迫町北方字仮屋地内
迫川(荒川)河川改修 仮屋河道排水機場 ポンプ増設

完成



② 平成30年3月現在
完成

平成29年度 復旧・復興カレンダー

6月17日 只越バイパス 供用開始

気仙沼市唐桑町中心部と三陸道等を結ぶ一般県道馬場只越線のバイパスが供用しました。この供用により、唐桑地区の復興はもとより、水産業や観光振興に大きく寄与することが期待されます。



8月7日 気仙沼向洋高校建築現場 見学会

小学生と保護者の方々に参加いただき、普段では入ることのできない高校の建築現場で建設機械に試乗するなど「ものづくり」の楽しさを体験いただきました。



10月9日 新面瀬橋「橋名板取付式」実施

主要地方道気仙沼唐桑線面瀬橋災害復旧工事において、完成前に地元小学生に橋名板の文字を書いていただき、取付式を行いました。



10月16日 館浜地区海岸災害復旧事業 完成

南三陸町歌津字館浜地域では、海岸災害復旧事業と道路災害復旧事業が合わせて完了しました。



10月23日 海岸災害復旧事業 完成

気仙沼市唐桑町の海岸災害復旧事業では、3事業が完了しました。



1月20日 大谷海岸地区復興事業 着工式 実施

大谷海岸地区では、防潮堤と背後のまちづくりについて事業調整や協議を進めてきましたが、防潮堤について、工事着手可能となったことから、大谷地区海岸復興工事を発注し着工を行いました。



3月25日 伊里前バイパス 供用開始

一般県道弘川町向線は、津波被災を受けた旧歌津町中心部の伊里前地区と弘川地区を結ぶ重要な路線であり、このバイパス供用により、歌津地域の復興を加速させ、水産業や観光振興にも寄与することが期待されます。



4月13日 ドーロクリーン作戦大島地区 実施

気仙沼大島の一般県道大島線では、大島島内で開催されるマラソン大会の実施前に道路の環境美化と不法投棄防止の啓発を目的とした「平成29年度ドーロクリーン作戦」を実施しました。



7月21日 大川リバーエステ大作戦 実施

平成16年度から毎年実施している「大川リバーエステ大作戦」を、河川愛護会や沿川自治会及び気仙沼市職員の方などに参加いただき、官民連携で実施しました。



10月17日 気仙沼大島大橋架橋橋本体工事 完成

大島架橋橋本体工事は、平成29年3月末に本体架設を行い、その後、本体部の溶接、架設時の補強材撤去、安全施設設置などを行い、工事が完了しました。



本土側の見学スペースより

10月28日 気仙沼大島大橋 見学会

架橋橋本体工事が完了したことから、気仙沼市の協力をいただき見学会を開催しました。見学会には、約400名の方々に参加いただき、事業の進捗を自分の足で実感していただきました。



12月25日 中沢地先海岸堤防工事 完成報告会

気仙沼大島で最初の津波対応堤防が18日完成したことから、地域の方々に参加いただき完成報告会を開催しました。



3月12日 小々汐地区・滝沢地区災害防除工事 完成

一般県道大島浪板線の小々汐地区と一般県道馬籠東和線の滝沢地区で進めていた災害防除工事が完了しました。



3月24日 只越橋「橋名板取付式」実施

一般県道馬場只越線只越橋災害復旧工事では、地域の皆様に復興の状況や郷里への愛着を深めていただくため、地元小学生に橋名板の字を書いていただき、取付式を行いました。



(1) 事務所の動き

平成 29 年度の気仙沼土木事務所は、総数 114 名(震災前の約 2.2 倍)の組織で、東日本大震災からの復旧・復興事業や通常事業、各種法令に基づく行政手続きや施設管理などを行っており、道路及び河川海岸に加え気仙沼港や御崎港の港湾も含めた復旧・復興事業と払川ダムや砂防施設等を含む管理を行っている。

平成 29 年度事業としては、当初予算に繰り越しを含めた約 950 億円の事業費となっており、このうち、震災関連として必要とする用地取得が約 4,000 筆で、前年度までに約 9 割近くを取得し、現在も継続して促進を図っている。工事では、災害復旧が箇所ベースで約 6 割完了、復興の 19 事業では 2 事業が完了しており、未着手箇所の早期着手や各工事の促進を進めている。

当事務所の今年度の目標としては、「宮城県社会資本再生・復興計画」における「再生期」の最終年であることから、先進的な防災・減災機能を備えた県土づくりを目指す次期「発展期」を見据え、河川・海岸等災害復旧事業の一部を完成させ、事業の進捗を図る。また、大島架橋や大谷地区海岸などの復興事業を着実に推進し、地域の方々が復旧・復興の加速を実感できるような成果を目指し取り組んでいる。

(2) 災害復旧事業

当事務所管内の公共土木施設災害復旧事業は、全 187 箇所のうち、事業調整などによる 2 箇所の除く 185 箇所(約 99%)に着手し、122 箇所(約 65%)が完了した。このうち、道路・橋梁施設については 101 箇所(約 82%)、河川海岸施設が 17 箇所(約 32%)、港湾関係は 4 箇所(約 36%)完了となった。また、金額ベースでは、全体事業費 2,115 億円に対して、着手済みが約 1,846 億円(約 87%)となっている。

災害復旧事業における道路供用に関しては、一般県道馬場只越線の只越バイパスと一般県道払川町向線の伊里前バイパスの供用などを行った。

◎箇所数ベース (単位:箇所) H30.3末現在

	全体	事業中		着手率	完了率
			うち完了		
道路・橋梁	123	122	101	99.2%	82.1%
河川・海岸	53	52	17	98.1%	32.1%
港湾	11	11	4	100.0%	36.4%
合計	187	185	122	98.9%	65.2%

※事業中箇所には、応急工事、調査設計、用地補償を含む

◎事業費ベース (単位:億円) H30.3末現在

	全体	事業中		着手率	完了率
			うち完了		
道路・橋梁	123.8	100.7	12.6	81.3%	10.2%
河川・海岸	1,889.3	1,657.2	105.7	87.7%	5.6%
港湾	102.7	88.0	20.9	85.7%	20.4%
合計	2,115.8	1,845.9	139.2	87.2%	6.6%

※事業中箇所には、応急工事、調査設計、用地補償を含む

一般県道馬場只越線 只越バイパス 開通

(平成 29 年 6 月 17 日供用)



一般県道弘川町向線 伊里前バイパス開通

(平成 30 年 3 月 25 日供用)



中沢地先海岸の完成報告会

(平成 29 年 12 月 25 日開催)



橋梁災害復旧における橋名板の取付式(文字は地元小学生が揮毫)



(3) 復興事業

当事務所の復興事業は、東日本大震災復興交付金事業 9 事業、国道補助地域連携事業 1 事業及び社会資本整備総合交付金(復興枠)事業 9 事業となっており、この 19 事業のうち 2 事業が気仙沼大島と国道 45 号を結ぶ大島架橋事業であり、その他には、国道 398 号で 3 事業、県道 6 事業、河川 3 事業、海岸 3 事業、港湾 2 事業となっている。

復興交付金

路線名	工区名	完了予定年度	
(国)398号	志津川	H30	H28部分供用
(国)398号	戸倉	H29	H28部分供用
(国)398号	波伝谷	H29	H28部分供用
(一)清水浜志津川港線	平磯	H29	
(一)志津川登米線	塩入	H30	
(一)泊崎半島線	泊崎	H29	
(一)清水浜志津川港線	志津川	H29	H28部分供用
(主)気仙沼唐桑線	東舞根	H27	(完了)
(都)片浜鹿折線	魚町	H29	

国道補助(地域連携(復興枠))

箇所名	完了予定年度
(一)大島浪板線	H30

社会資本整備総合交付金(復興枠)

箇所名	完了予定年度	
大島架橋事業(離島)	H30	
大川	H32	
鹿折川	H30	
津谷川	H32	
岩井崎地区海岸	H29	
中島地区海岸	H28	(完了)
大谷地区海岸	H32	
気仙沼港(朝日2号陸開)	H29	
気仙沼港(陸開自動化遠隔化)	H30	

このうち、大島架橋事業は、平成 29 年 3 月に橋桁を架設し、平成 29 年度は、大島のライフラインとなる水道工事などを進めるとともに、秋には島民など約 400 名を対象とした見学会を開催した。今後は、大島大橋を含む区間の平成 30 年度完成に向け工事を進めるとともに、全区間の早期供用に向けた工事を推進する。

また、復興交付金事業では、まちづくりと連携し進めてきた志津川登米線の塩入復興道路や泊崎半島線の泊崎復興道路などで一部供用を行ってきており、今後も他事業との調整を進めながら工事を推進していく。



(4) 7年目の課題

・人員不足

当事務所では、自治法派遣による職員に応援をいただき、震災復旧・復興を進めているが、現在は、用地隘路や事業調整による用地取得対応、工事における他事業調整やそれに伴う計画修正、工事変更など様々な対応が必要となっており、今後、各事業完了に向けての業務対応も含め、継続的な人員不足についての対策が必要である。

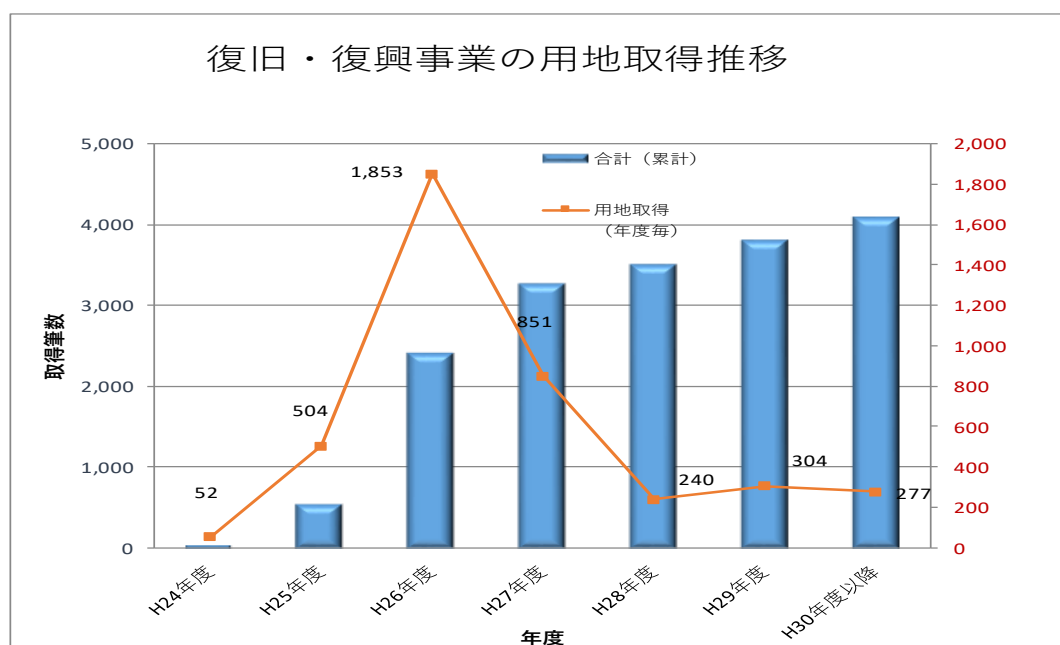
・建設工事等の入札不調

当事務所の入札では、建設工事の一般競争入札における不調件数が、ここ数年 10 件を僅かに超える程度で推移していたが、平成 29 年度は 23 件の入札不調が発生しており、事業進捗を図る上で支障となっている。

工種的には、舗装や道路での入札不調が多く発生しており、地理的条件や建設業界の技術者不足も要因の一つと考え、発注ロットや発注時期など検討し対応してきている。

・ 用地取得の推進

用地の取得については、震災復旧・復興のため必要な多くの業務について、自治法派遣による職員の応援をいただき進めており、平成 29 年度は、全国から 12 名の応援をいただき、用地取得難航者への対応や未相続地の解決など多様な用地業務を進めてきた。復旧・復興の用地取得は、平成 26 年度をピークに減少傾向となつてはいるものの用地隘路や事業調整などが必要なものが多く、応援職員と連携し、計画的に取得を進める必要がある。



・ 工事の促進と進行管理

震災復旧・復興の工事を多数発注しているが、現場条件や他事業との工事調整などによる工事内容の検討や契約内容の変更などがあり、一人あたりの負担が膨大となっている。さらには、他事業調整などから工事の一時中止や部分中止などもあり、工事促進に影響を及ぼしていた。

この対策として、監督支援業務などを活用するとともに、所内での進行管理を始めとした懸案事項などの情報共有や問題解決を進め、平成 29 年度に中止案件の多くを整理し、工事の促進を図ることができた。

今後は、工事精算変更や補償工事物件の引き渡しなども増えることから、着実に一つ一つを解決し進めていくための進行管理の徹底が必要である。

・ 予算管理

工事の促進における進行管理では、予算管理も重要であり、特に繰越予算の支出や工事進捗に伴う請負者への支出時期、金額を適正に把握し、各工事ごとの管理を徹底する必要がある。

・ 施設管理

当事務所管内では、震災からの復興のため、多くの事業が進められているが、地形的条件から限られた道路に車両が集中している。

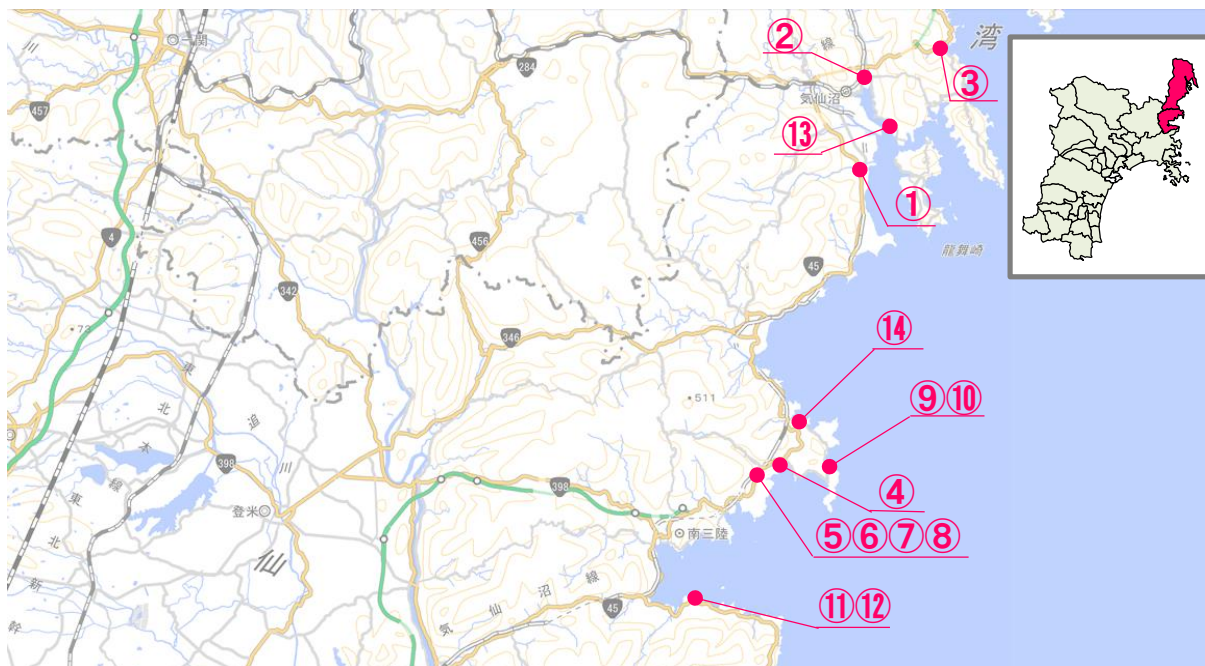
このため、県管理道路の適正な維持管理が求められており、職員直営によるパトロールの強化やドーロクリーンとして企画した直営道路清掃などのソフト対策とともに計画的な施設更新を行うことが必要である。

(5) おわりに

震災から7年がたち、それぞれの復旧・復興事業で完了時期が見えてきたが、未だ工事に入れない工区などもあることから、ゴールを見据えた事業促進を自治法派遣職員とともに事務所一丸となって進めていく。

また、震災復興のシンボルである「大島架橋事業」を着実に進め、進捗状況を発信していくとともに、多くの復旧・復興事業が気仙沼市・南三陸町の復興の一躍を担っていることから、市町や関係機関と連携して着実に進める。

道路施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載



着工前



③ (一)馬場只越線 気仙沼市唐桑町只越地内外
只越橋災害復旧(上部工)工事 着工前

完成



③ 平成30年2月21日
完成

着工前



④ (一)払川町向線 本吉郡南三陸町歌津字町向地内外
伊里前橋災害復旧(上部工)工事 着工前

完成



④ 平成30年3月20日
完成

着工前



⑤ 平成27年3月1日 着工
宮城県本吉郡南三陸町歌津字白山地内

完成



⑤ 平成30年3月25日 供用開始

施工状況



⑥ 平成27年12月5日 橋梁下部工施工状況
宮城県本吉郡南三陸町歌津字白山地内

完成



⑥ 平成30年3月25日 供用開始

施工状況



⑦ 平成27年12月5日 本線部施工状況
宮城県本吉郡南三陸町歌津字白山地内

完成



⑦ 平成30年3月25日 供用開始

施工状況



⑧ 平成29年3月24日 橋梁下部工施工状況
宮城県本吉郡南三陸町歌津字白山地内

完成



⑧ 平成30年3月25日 供用開始

着手前



⑨(一) 泊崎半島線 本吉郡南三陸町歌津字大沼地内外
泊崎道路改良工事(その2) 着工前

完成



⑨ 平成30年1月31日 供用開始
完成

着工前



⑩(一) 泊崎半島線 本吉郡南三陸町歌津字大沼地内外
泊崎道路改良工事(その2) 着工前

完成



⑩ 平成30年1月31日 供用開始
完成

着工前



⑪(国)398号 本吉郡南三陸町戸倉字波伝谷地内外
波伝谷道路災害復旧外工事 着工前

完成



⑪ 平成30年3月23日
完成

着工前



⑫(国)398号 本吉郡南三陸町戸倉字波伝谷地内外
波伝谷道路災害復旧外工事 着工前

完成



⑫ 平成30年3月23日
完成

施工状況



⑬ 道路災害防除 気仙沼市小々汐地内
落石

完成



⑬ 平成30年3月12日
完成

施工状況



⑭道路災害復旧 南三陸町歌津字田ノ浦地内
路面欠損

完成



⑭平成29年5月17日
完成

道路施設の再生・復興状況の写真(大島架橋事業)



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① (一) 大島浪板線 気仙沼市大浦地内
大浦道路改良工事

完成



①平成29年10月31日
完成

着工前



② (一) 大島浪板線 気仙沼市浪板地内
浪板道路改良工事(その2)

完成



②平成30年3月8日
完成

着工前



③ (一) 大島浪板線 気仙沼市浪板地内
浪板道路改良工事

完成



③平成30年1月24日
完成

着工前



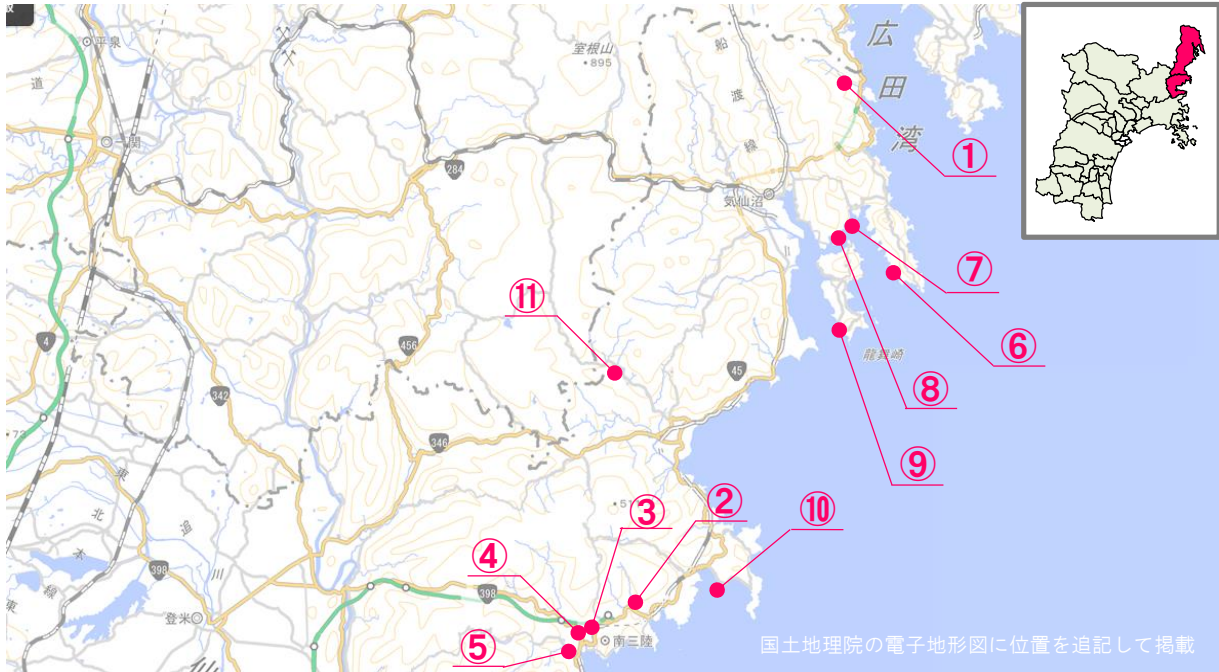
④ (一) 大島浪板線 気仙沼市三ノ浜・磯草地内
大島架橋本体工事

完成



④平成29年10月17日
工事完成

河川・海岸・砂防施設の再生・復興状況の写真



着工前



① 青野沢川 気仙沼市唐桑町 地内
河川堤防欠壊

完成



① 平成29年10月23日
上流区間完成

着工前



② 桜川 南三陸町志津川字松井田地内
河川堤防沈下欠壊

完成



② 平成30年3月15日
完成

着工前



③新井田川 南三陸町志津川字本浜町地内
河川堤防沈下欠壊

完成



③ 平成29年12月8日
完 成

着工前



④八幡川 南三陸町志津川字塩入地内
河川堤防沈下欠壊

完成



④ 平成29年12月8日
完 成

着工前



⑤水尻川 南三陸町志津川字大久保地内
河川堤防沈下欠壊

完成



⑤ 平成30年2月26日
完 成

着工前



⑥高石浜地区海岸 気仙沼市唐桑町高石浜地内
海岸堤防沈下欠壊

施工中



⑥ 平成29年10月23日
完成

着工前



⑦西舞根貝浜地先海岸 気仙沼市唐桑町西舞根地内
海岸堤防沈下欠壊

施工中



⑦ 平成29年10月23日
完成

着工前



⑧日向貝地先海岸 気仙沼市唐桑町西舞根地内
海岸堤防沈下欠壊

完成



⑧ 平成29年10月23日
完成

着工前



⑨ 中沢地先海岸 気仙沼市駒形地内
海岸堤防沈下欠壊

施工中



⑨ 平成29年12月18日
完成

着工前



⑩ 館浜地区海岸 南三陸町歌津字館浜地内
海岸堤防沈下欠壊

施工中



⑩ 平成29年10月16日
完成

着工前



⑪ 北上川圏域 気仙沼市本吉町西川内地内
尾持沢砂防堰堤の緊急改築

完成



⑪ 平成30年2月23日 現在
緊急改築 完了

